

各 位

2026 年 9 月 15 日
株式会社インプレス

Google の定番 3 アプリを 1 冊で学べる！『できる Google スプレッドシート&ドキュメント&スライド Gemini 対応』を 9 月 15 日に発売

インプレスグループでIT・デザイン関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：高橋隆志）は、Googleの主要3アプリの使い方を体系的に解説した新刊『できるGoogle スプレッドシート&ドキュメント&スライド Gemini対応』を2026年9月15日（火）に発売いたします。



■Googleツールへの移行と生成AI活用のニーズに応える

近年のハイブリッドワークの定着や業務効率化の推進に伴い、多くの企業や、校務などでGoogleのアプリを活用したい教職員においてGoogle Workspaceをはじめとするクラウドツールの導入が急速に進んでいます。さらに、Googleの生成AI「Gemini」と各種サービスとの連携が進み、文章やデータ、プレゼンテーション資料の作成に生成AIを活用する機会も増えています。本書はこうしたニーズに応えるため、Googleの主要アプリの基本操作からGeminiの活用方法までを効率よく学べる構成になっています。

■1冊で3つのアプリの使い方をマスターし、AI活用まで実践できる

本書は実務で頻出する「スプレッドシート」「ドキュメント」「スライド」の主要3アプリの操作方法を1冊に集約しています。単一アプリの基本操作にとどまらず、アプリをまたいだデータの活用やリアルタイムでの共同編集、さらにGeminiを使った文章やプレゼンテーション資料の作成方法まで幅広く解説しています。実務に必要なクラウド&AI活用スキルを1冊で習得できるため、新入社員の研修教材やツール移行を検討するビジネスパーソンにもおすすめしたい1冊です。

■本書は以下のような方におすすめです

- ・初めて Google ツールを使い始める方や、新入社員研修で基礎を学びたい方
- ・Google ツールへの移行・併用を進めているビジネスパーソン
- ・スプレッドシート、ドキュメント、スライドの連携技を効率よく身につけたい方
- ・Gemini などの生成 AI を実務にどう活かすか、具体的な操作手順を知りたい方

レッスン

23

絶対参照を使って 構成比を求めよう



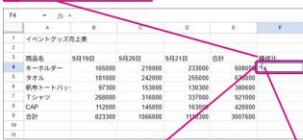
絶対参照・表示形式をパーセントに設定
練習用ファイル L23_イベントグッズ売上表

「商品の売上合計/総合計」の数式を作成し、商品ごとの売上構成比を求めます。後から数式をコピーすると考慮して、総合計のセル番地がずれないように「絶対参照」にするのがポイントです。

1 割り算の数式を入力する

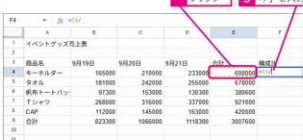
レッスン06を参考に、練習用ファイルを表示しておきます。ここでは総合計の売上に対して、商品ごとの売上合計が占める比率を求めます

1 レッスン14を参考にセルF3に「構成比」と入力しておく



2 セルF4をクリックして選択

3 [=]を入力



4 セルF4をクリック

5 [/]を入力

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

※ 使いこなしのヒント

絶対参照って何?

数式をコピーすると、コピー先の行や列に合わせて、行番号や列番号が自動的に変化します。ただし、このレッスンのセルE9のように、常に同じセルを使って計算したい場合もあります。このようなときは、コピー元のセルに\$記号を付けてからコピーします。\$の付いたセルは固定され、コピー先で行番号や列番号が変化することはありません。常に変わらないセルの参照方法を「絶対参照」といいます。

※ 使いこなしのヒント

手動で\$記号を付ける

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

レッスン14を参考にセルF3に「構成比」と入力しておく

セルF4をクリックして選択

[=]を入力

セルF4をクリック

[/]を入力

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

セルF4をコピーしてセルF5まで貼り付けます。このようにして、すべての商品の構成比を求めます。

手続10の操作では、[F4]キーを押して絶対参照を指定しましたが、手続1の操作6の後に手動で\$記号を入力してもかまいません。

23

絶対参照
相対参照
表示形式
バリエーションに
対応

**6 セルE9を
クリック**

F4	A	B	C	D	E	F
1	イベントグッズ売上表					
2		9/19/13	9/19/13	9/19/13	合計	9/20/13年
3	商品名	100000	210000	230000	640000	
4	キーホルダー	180000	240000	260000	670000	
5	タオル	97300	153000	130300	380600	
6	乾巾・トートバッグ	260000	310000	337000	907000	
7	Tシャツ	110000	140000	160000	410000	
8	CAP	170000	180000	190000	540000	
9	合計	823300	1060000	1118200	3001500	
10						
11						

2 セルの参照を絶対参照に変更する

1 [F4]キーを押す
数式が「E9」から「\$E\$9」になり、
参照方法が絶対参照になった。

F4	A	B	C	D	E	F
1	イベントグッズ売上表					
2		9/19/13	9/19/13	9/19/13	合計	9/20/13年
3	商品名	100000	210000	230000	640000	セルの参照方法
4	キーホルダー	180000	240000	260000	670000	
5	タオル	97300	153000	130300	380600	
6	乾巾・トートバッグ	260000	310000	337000	907000	
7	Tシャツ	110000	140000	160000	420000	
8	CAP	170000	180000	190000	540000	
9	合計	823300	1060000	1118200	3001500	
10						
11						

2 [Enter]キーを押す
入力された数式が確定し、
比率が求められた。

F4	A	B	C	D	E	F
1	イベントグッズ売上表					
2		9/19	9/19	9/19	合計	
3	商品名	\$A\$3	\$B\$3	\$C\$3	\$D\$3	
4	キーホルダー	100	220	155	515	
5	タオル	1	0.2264208124	1		
6	乾巾・トートバッグ	1	0.2264208124	1		
7	Tシャツ	1	0.306242319	1		
8	CAP	1	0.1296462296	1		
9	合計	1000	1	1		
10						
11						
12						

[x] をクリックして、自動入力の
候補の表示を閉じる

準 いごなしのヒント

**※ F4 キーを使って
素早く絶対参照に変更する**

[F4]キーを押すと、自動的に「\$」記号が
付きます。[F4]キーを押すごとに「\$E\$9」
→「E\$9」→「\$E9」→「E9」と「\$」記
号が付く位置が変化します。

```
graph TD; A[E$9] --> B[$E$9]; B --> C[$E9]; C --> D[E9]; D --> A;
```

準 いごなしのヒント

自動入力候補が表示される

手順2の操作2で表示された【自動入力】
画面は、スプレッドシートが次の操作を
予測して、数式をコピーした結果を表示
しています。[v]ボタンをクリックすると、
自動的に数式がコピーされます。[x] ボ
タンをクリックすると、【自動入力】画
面を消去できます。

できる

次のページへ
進む

77

計算や集計の自動化から視認性の高い表・グラフの作成まで、実務ですぐに役立つノウハウをステップバイステップで示しています。

Google
お役立ち
第13章 Geminiとは何者か？

108

レッスン

Geminiでテーマに沿ったスライドを作ろう

スライド生成

練習用ファイル なし

スライドアプリでGeminiを利用すると、作りたいスライドのテーマを指示するだけで資料のたたき台を作成できます。ここでは、スキルアップ研修のスライドを作成してみましょう。

1 スライドを生成する

ここではスライド資料を生成します

1 「チャットを新規作成」をクリック

2 「中堅社員向けのスキルアップ研修実施のスライドを5枚で作りたい」と入力

3 「Enter」キーを押す

回答が表示された

4 「Open」をクリック

🔍 キーワード

Gemini	P.308
エクスポート	P.308
チャット	P.311

★ 使いこなしのヒント

「スライド」の文字を入れるとスライドアプリで作成できる

手順の操作2のように、プロンプトに「スライド」の文字を入れると、スライドアプリで利用できるスライドが作成されます。「スライド」の文字がないと、回答が文章だけで表示されます。

★ 使いこなしのヒント

Gemini in Chrome
スライドで使う

Google Chrome画面右上の「Geminiに相対」ボタンをクリックすると、スライドアプリと同画面でGeminiを利用できます。ファイルをアップロードしなくても、操作時のスライドに関する指示を入力できるので便利です。

1 「Geminiに相対」をクリック

Geminiが起動した

300 できる

2 Googleスライドにエクスポートする

スライドのプレビューが表示された

1 【スライドにエクスポート】をクリック



2 しばらく待つ

「新しいスライドを作成しました」と表示されて、エクスポートが完了した

3 【スライドを閉く】をクリック

Googleスライドが起動して、Geminiで生成したスライドが表示された



※ 使いこなしのヒント

生成されるスライドはその都度変わる

同じ指示を入力しても、その時によってGeminiが生成するスライドのデザインや内容はまちまちです。イメージと違うスライドが生成される場合は、同じ指示を入力し直すのもひとつの方法です。

※ 使いこなしのヒント

ドキュメントやスプレッドシートのデータをアップロードしてスライドを作る

プレゼン資料の元になるドキュメント文書やスプレッドシートのデータをアップロードし、このファイルを元にしてスライドを作った」などの指示を入力する方法もあります。

※ 使いこなしのヒント

5枚以上のスライドが生成される場合もある

「5枚」という指示を出しても、生成されるスライドが枚数以降の場合もあります。不要なスライドは「Delete」キーで削除できます。

まとめ

スライドのたたき台はAIに任せる

これまでは、提案書や報告書などのスライドを自ら作成すると、多くの時間がかかることが悩みの種でした。しかし、Geminiを使うことで、スライドのたたき台を数十秒で作ることができます。その分、スライドのブラッシュアップに多くの時間を割くことができ、スライドの質が向上します。

108

スライド生成

▼

109

▼

110

▼

111

▼

112

▼

113

▼

114

▼

115

▼

116

▼

117

▼

118

▼

119

▼

120

▼

121

▼

122

▼

123

▼

124

▼

125

▼

126

▼

127

▼

128

▼

129

▼

130

▼

131

▼

132

▼

133

▼

134

▼

135

▼

136

▼

137

▼

138

▼

139

▼

140

▼

141

▼

142

▼

143

▼

144

▼

145

▼

146

▼

147

▼

148

▼

149

▼

150

▼

151

▼

152

▼

153

▼

154

▼

155

▼

156

▼

157

▼

158

▼

159

▼

160

▼

161

▼

162

▼

163

▼

164

▼

165

▼

166

▼

167

▼

168

▼

169

▼

170

▼

171

▼

172

▼

173

▼

174

▼

175

▼

176

▼

177

▼

178

▼

179

▼

180

▼

181

▼

182

▼

183

▼

184

▼

185

▼

186

▼

187

▼

188

▼

189

▼

190

▼

191

▼

192

▼

193

▼

194

▼

195

▼

196

▼

197

▼

198

▼

199

▼

200

▼

201

▼

202

▼

203

▼

204

▼

205

▼

206

▼

207

▼

208

▼

209

▼

210

▼

211

▼

212

▼

213

▼

214

▼

215

▼

216

▼

217

▼

218

▼

219

▼

220

▼

221

Geminiの活用法も紹介。具体的な指示から資料を生成し、Googleスライドに書き出す手順を解説しています。

■本書の構成

【Google基本編】

第1章 Googleツールの基本をマスターしよう

【スプレッドシート基本編】

第2章 「スプレッドシート」を使って表作成の基本を知ろう

第3章 計算と集計を自動化する数式・関数を使おう

第4章 一目で伝わる「見せる表」を作ろう

第5章 「スプレッドシート」でグラフを作ろう

【ドキュメント基本編】

第6章 「ドキュメント」で思い通りに文字を綴るための基本を知ろう

第7章 読みやすい文書に仕上げるレイアウト術を知ろう

第8章 画像や図形を使って視覚効果を高めよう

【スライド基本編】

第9章 「スライド」で伝わるプレゼン資料の骨組みを作ろう

第10章 図表とメディアでスライドの表現力を引き上げよう

第11章 本番を成功させるスライドショーの技術を習得しよう

【Google活用編】

第12章 アプリの垣根を超える連携と共同作業

第13章 Geminiで仕事のスピードを加速しよう

■書誌情報



書名：できるGoogleスプレッドシート&ドキュメント&スライド Gemini対応

著者：井上香緒里&できるシリーズ編集部

発売日：2026年9月15日（火）

ページ数：320ページ

サイズ：B5変形判

定価：2,420円（本体2,200円＋税10%）

電子版価格：2,420円（本体2,200円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-02569-6

◇Amazonの書籍情報ページ：<https://www.amazon.co.jp/dp/4295025690>

◇インプレスの書籍情報ページ：<https://book.impress.co.jp/books/1125101186>

◇書影ダウンロードページ：<https://dekiru.net/press/502569.jpg>

■著者プロフィール

井上香緒里（いのうえかおり）

テクニカルライター。SOHOのテクニカルライターチーム「チーム・モーション」を立ち上げ、IT書籍や雑誌の執筆、Webコンテンツの執筆を中心に活動中。2007年から2015年まで「Microsoft MVP アワード

（Microsoft Office PowerPoint）」を受賞。近著に『できるPowerPoint 2024Copilot対応 Office 2024&Microsoft 365版』『できるポケット PowerPoint 2024 Copilot対応 基本&活用マスターブック Office2024&Microsoft 365版』『できるWord&Excel&PowerPoint 2024 Copilot対応 Office 2024&Microsoft 365版』（以上、インプレス）などがある。

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 8,000 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、デザイン・グラフィック関連の書籍ブランド「MdN」、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」をはじめとする企業向け IT 関連メディアなどを総合的に展開・運営する事業会社です。IT・デザイン関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT・デザイン」「音楽」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: pr-info@impress.co.jp URL : <https://www.impress.co.jp/>